

北京パラリンピック クロスカントリースキー・ バイアスロン



▲湯の丸高原プール前にて

多くの感動を生んだ北京五輪が閉会し、3月4日に北京パラリンピックが開幕します。

その中で、クロスカントリースキーとバイアスロンに出場される日本代表選手が、湯の丸で合宿を行いました。

選手の皆さまから、湯の丸で合宿した感想と、大会に向けてのコメントをいただきました。(合宿の日程等により一部の選手からいただいております)市民の皆さまもパラリンピックを身近に感じ、選手を応援しましょう。

内定選手：氏名／所属／出場予定種目／パラリンピック出場回数



にった よしひろ
新田 佳浩選手

日立ソリューションズ
クロスカントリースキー
7回目

仮想北京を想定して今回湯の丸での最終合宿地としてトレーニングを行いました。GMOアスリーツパークとして宿泊、トレーニングなど充実した設備で、海外を想定した堅いバーンも湯の丸観光開発様のご協力のもと、事前合宿地として非常に良い環境を整えていただいたことに感謝しております。

湯の丸での成果を本番の舞台「北京」で最高のパフォーマンスを発揮できるように頑張りますので応援よろしくをお願いします。



あべ ゆりか
阿部 友里香選手

日立ソリューションズ
クロスカントリースキー／バイア
スロン
3回目

昨年のオフトレーニングからGMOアスリーツパーク湯の丸を利用させて頂いていました。コロナ禍で高所トレーニングのため海外遠征へ行けない状況の中で、宿泊施設、練習場所共に標高を確保できる所はとても貴重で、関係者の皆さんも快く受け入れてくださいました。北京パラリンピック会場は標高が高いため大会前事前合宿で利用できるように、様々な要望に応じてくださり、大会直前まで美味しい食事と良いトレーニング環境の中で調整することができました。

4年間調子が良いときも悪いときもありましたが、沢山のサポートのおかげでここまで来ることができました。そのすべてを北京大会では出し切り、一つでも上位を狙って頑張っていきたいと思います。応援よろしくをお願いします。



かわよけ たいき
川除 大輝選手

日本大学スキー部(日立ソリューションズジュニアスキークラブ)
クロスカントリースキー
2回目

北京パラリンピックの会場と同じぐらいの標高があり、そこでスキーを滑れるという環境は日本国内では限られてきます。その中でしっかりと距離も取れるコースを整備していただいていることでとても良い練習ができました。また食事や宿泊施設など選手のことを第一に考えられていたので練習の疲れも取れる良い環境でした。

ここで練習したことを北京で発揮し、平昌パラリンピックでは目標を達成することができなかったのが、今大会では100%の力を出し切り良い報告ができるよう頑張ります。応援よろしくをお願い致します。



いわもと けいご
岩本 啓吾選手

土屋ホーム
クロスカントリースキー
3回目



できじま ももこ
出木島 桃子選手

新発田市役所
バイアスロン
5回目

●問い合わせ先 文化スポーツ振興課 スポーツ係 ☎75 - 1455